

個別型塾は儲け主義！？ —個別型学習塾と一斉講習型学習塾—
進学塾業界に携わっている人たちは、我が子を個別指導塾には通わせない！
(混在学年型学習塾に要注意！)

学習塾は「個別型」と「一斉型」に分類されます。最近では「個別指導型塾は儲け主義」とウワサがあります。いかがなものでしょうか。

通常、個別型では個別指導という言葉が用いられますが、これはマンツーマンでしっかり教えるという意味ではありません。「受講生徒のそれぞれが、同じ時間帯で異なる勉強をする(ある生徒は数学、またある生徒は英語)」ということなのです。この形態で運営している学習塾を個別指導型学習塾というのです。

個別型学習塾には、大きな特徴が2つあります。

1つ目は、混在学年での運営です。混在学年とは、1つの空間(部屋)に中学1年生や中学2年生がいたり、場合によっては、小学生や中学生が混在し中には高校生がいることもあります。(私が中学生だったら、恥ずかしくて質問もできないと考えます。)

少なくとも預かった子供に、より真剣に勉強を教えようと考えたら、複数学年を混在しての空間はありません

2つ目の特徴は、個別型塾では授業を提供することがありません。

つまり、講師も素人で可能(アルバイトで運営が可能)で、よく小遣い稼ぎで学生が活躍しています。混在学年での運営なので、だだっ広い1部屋のテナントを利用し、人件費(素人・アルバイト)を抑えて生徒数十名を混在。こだわりは立派な見栄え。受講料も高め。

個別指導塾＝儲け主義ではないと思いますが、儲け主義に走ったら、必然的に個別指導型(混在学年での運営)になってしまいます。

個別指導型で運営している学習塾は、大手も存在しますが、地方の学習塾に多いようです。問い合わせをされる際は、混在学年の確認は必要と考えます。

「一斉型」学習塾とは？

一斉型学習塾で特徴が現れるのは、まず「学年別に教室が分かれる」ことです。当然に学年別又は科目別に担当講師が存在します。学年混在での空間ではないため、学年別に講習時間帯が存在します。

学年別又は科目別に講師が必要なことと、複数の教室が必要なため、運営費用が高くなりますが、各生徒の学力向上が学習塾の務め。費用を惜しまず、生徒の勉強しやすい空間を優先したシステムです。

そして、何といても最大の相違は講師の授業力です。

一斉指導の講師はいわば職人です。大手の有名進学塾は、一斉授業ができる講師の育成に尽くします。その育成期間はおおよそ数カ月に及び、黒板の清掃から授業の組み立て、入試のカリキュラム、各生徒の気持ちの鼓舞、自信のつけ方、演出、褒め方、宿題の出し方等、一人前になる(分かりやすい授業を展開を出来る)まで教壇に立つことはできません(途中で辞めてしまう人も多々います)。必然的に仕事への熱意も高くなります。

一斉授業の講師は授業を提供する正に鍛え抜かれた職人なのです(学生バイトでは無理)。

※塾側では、一斉授業で完成された人気講師の独立(引抜)を警戒します。

結論的には個別指導型の講師は素人(学生バイト等)、一斉授業型の講師はその道の職人なのです。一般的に一斉授業型を進学塾といい、有名進学塾はこれにあたります。

学習塾業界の人たちはそれを知っているので、わざわざ講習料が高めで素人講師の個別指導塾に自分の子供を通わせることはありません。

※上記に述べたことは業界の一般論であり、すべての学習塾又は講師に該当することではありません。

- ・のぞみスクールは学年別のクラス編成です。学年ごとの講習及び担当講師がいます。
 - ・中1、中2は少人数(4~5名程度)での講習です。
 - ・のぞみスクールの中3生は、受験生指導歴21年の職人講師による講習です。
- 有名進学塾レベルの講習を提供しています。